

カリキュラム

1日目：平成30年12月7日（金）

| 時間 | 項目 | 研修のねらい・内容 | 講師等 |
|-----------------|-----------|--|-----------------|
| 9:00～ 9:30 | オリエンテーション | 研修目的の確認と受講生の自己紹介などを通じて、研修を始めるに当たっての意識付けを行うことで、研修効果を高める。 | 柳澤平 氏 |
| 9:30～ 12:00 | 講義 | 鉄系平衡状態図、変態曲線と金属組織などを平易に解説することで、金属組織と材料特性との関連についての基礎を理解する。 | |
| 13:00～ 17:00 | 実習とまとめ | 講義で学んだ事項について実習により、理論と現物に関連づけることで、理解を深めるとともに、今回学んだ知識をより確実なものとする。 ① 金属組織の顕微鏡による組織観察を体験する。 ② 材料の評価や品質管理の有力な手法である硬さ試験及び引張り試験を体験する。 | 柳澤平 氏 センター職員 |

2日目：平成30年12月8日（土）

| 時間 | 項目 | 研修のねらい・内容 | 講師等 |
|-----------------|--------|---|--------------------------|
| 9:00～ 12:00 | 講義 | めっきの種類、めっきに求められる機能、析出メカニズムなどを平易に解説し、実際の製品における膨れや変色などのめっき不良に関するトラブル対策、素材別めっき前処理を紹介することで、めっきの基礎と casting 品、熱処理品などの各種材料との関わりを理解する。 | 日野実 氏 |
| 13:00～ 17:00 | 実習とまとめ | 講義で学んだ知識を踏まえた実習を通じて、不良原因の解析方法などの基礎を学ぶとともに、今回学んだ知識をより確実なものとする。 ① 走査電子顕微鏡によるめっき表面などの形態観察 ② めっきの膜厚測定 ③ 電子線マイクロアナライザーによる元素分析 | 日野実 氏 柳澤平 氏 センター職員 |

3日目：平成30年12月20日（木）

| 時間 | 項目 | 研修のねらい・内容 | 講師等 |
|----------------------------|----------------|--|-----------------------------|
| 集合(8:30) 9:00～ 12:00 | 工場見学と現場改善の取組紹介 | 機械製品の製造工程を見学し、最新の技術や無駄のない生産体制などを学ぶことで、知識を深めるとともに、幅広い視野で物事を見る能力を養う。 見学先：(株)日本製鋼所 広島製作所 | (株)日本製鋼所 広島製作所 水田裕之 氏 |
| 13:30～ 15:30 | 現場改善アラカルト | 現場改善に必要な知識を学ぶ。 ・現場改善の基本ステップ ・品質管理と品質保証 ・ヒューマンエラー ・QC7つ道具 ・5S3定 | (有)ときふじオフィス 時藤哲正 氏 |
| 15:40～ 16:40 | 研究成果発表 | 受講者一人ひとりが、今後、日々の業務の中で研修成果をどのように活かしていくかを考え発表する。また、この体験を通じて、プレゼンテーションの重要性を理解し、その能力を養う。 | |

※講義等の状況により、研修内容及び時間に変更となることがあります。ご了承ください。

※最終日の研修まとめは、業界団体、派遣企業の代表者、役員の方も傍聴・参加いただけます。

※研修の成果は、冊子にまとめて各企業に送付いたします。